

幼稚園・保育園の環境活動が園児や家庭に及ぼす効果－愛媛県内子町の事例－ Effect of environmental activities of kindergartens and nursery – Case of Uchiko Town

芝浦工業大学環境システム学科 ○中口毅博

1. はじめに

本研究は幼稚園・保育園の環境活動が園児や家庭に及ぼす効果を愛媛県内子町の事例として把握することを目的としたものである。

2. 研究の方法

本研究でいう効果は、園で行った環境活動のことを園児が家庭に伝えた度合い（伝達度）、家で環境活動を実施するようになった度合い（行動実践度）と定義した。そこで表1に示すとおり、保護者アンケートにより伝達度と行動実践度を把握するとともに、各園で実施する環境活動を各園へのアンケート調査によって把握した。この調査結果より園での学習回数と親への伝達度や行動実践度の関係を分析することで、活動内容ごとの効果を把握した。また、主成分分析によって伝達度と行動実践度からみた環境活動の分類を試みた。

3. 結果

図1と図2に示すとおり、①園で活動した結果、よく伝達・実践されているもの、②よく活動しているのにあまり伝達・実践されていないもの、③あまり活動していないのによく伝達・実践されているもの等に分類された。

表1 調査の概要

種類	保護者アンケート調査	保育士アンケート調査
時期	2013年9月	2013年10月
方法	各園を通じて配布・回収	メールで配布・回収
内容	町の活動の認知度、エコへの関心度、園の活動への賛意、エコ記事の購読度、子どもから保護者への伝達内容、子どもの家庭での環境配慮行動の変化内容、保護者の家庭での環境配慮行動の内容	年齢別のエコ活動の内容と実施回数
回収数	337(幼稚園117、保育園220)	11(幼稚園5、保育園6)

また主成分分析の結果、活動系－体験系、内部系－交流系、総合系－個別系といった軸が抽出され、各環境活動の特性が明らかになった。

キーワード 環境教育、環境活動、園児、環境行動

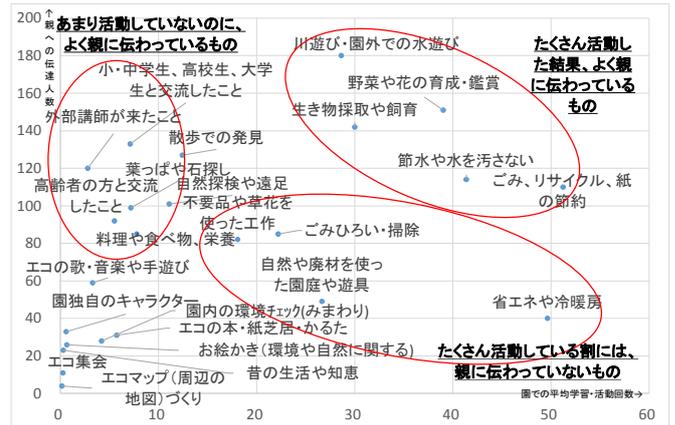


図2 家での行動実践回数と園での学習回数の関係

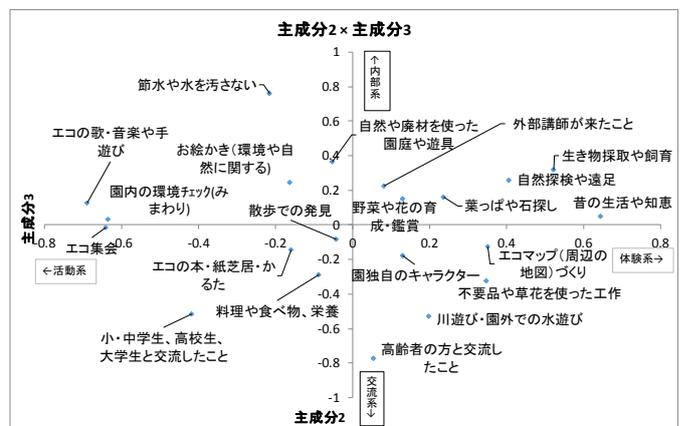


図3 伝達度からみた環境活動の分類（主成分分析による）

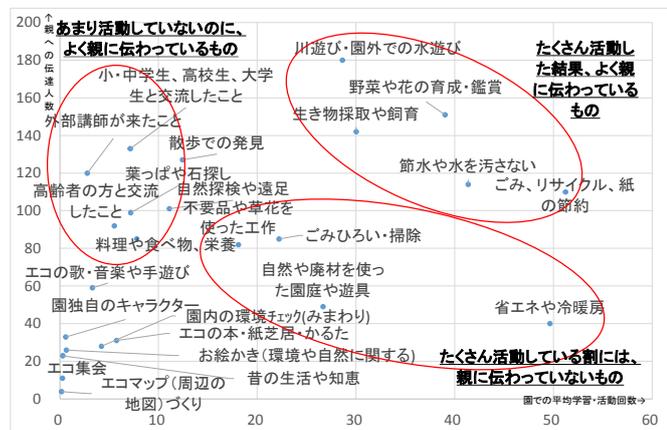


図1 親への伝達度と園での学習回数の関係

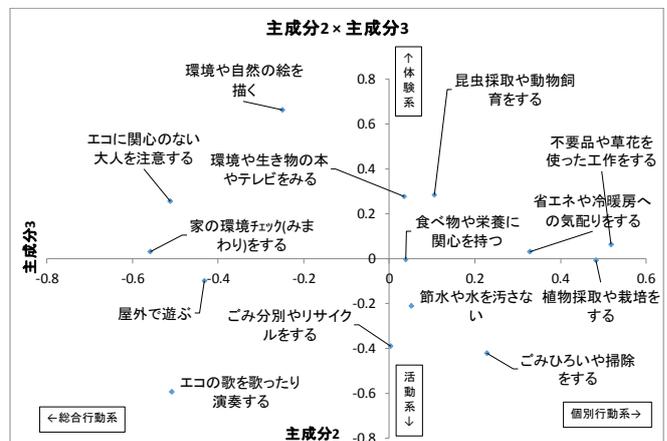


図4 行動実践度からみた環境活動の分類（主成分分析による）